



会 場 柏崎市文化会館 アルフォーレ

研究課題 ネット社会における大人の役割 ～子どもたちの安全を守るために～

基調講演者 竹内 和雄氏 兵庫県立大学准教授

スマホ時代を生きる子どもたちのために ～今大人が知っておきたいこと～

実践発表者 金田 大也氏ほか 新潟県柏崎市小中学校 PTA 連合会評議委員

「子どもと大人のメディア共同宣言」

コーディネーター 竹内 和雄氏 基調講演者

パネリスト 金田 大也氏 (新潟県柏崎市小中学校 PTA 連合会評議委員)

大久保 真紀氏 (インターネット利用アドバイザー)

廣田 恵子氏 (石川県小松市月津小学校校長)

佐々木 一智氏 (公益社団法人日本 PTA 全国協議会前理事)

討議の視点

- 1) 新しい時代に対応した新たなスマホ・ネットのルール作り
- 2) ネットを逃げ場としないための手立て
- 3) いじめ・不登校となるネットトラブルの防止

基調講演では、現代の子供たちが、ネットとどういう関わり方をすべきか、どう向き合っていくかについて話されました。われわれ大人がついていけないスピードで子供達がネットと関わっている現状を知り、ショックと驚きを感じました。一步間違えば犯罪に結びつく事ばかりで、早急な改善策が必要だと実感しました。

実践発表では、柏崎・刈羽地区の中学生が、何度も自分達で話し合い「中学生のメディア宣言」を宣言したこと、それに伴い大人も「大人のケータイ・スマホに関するメディア宣言」を作成したことが発表され、大人と子供が協力し、はじめて解決に向かうと強調されていました。

研究を終えて感じたことは「子どもは大人の背中を見ている」ことでした。大人が子どもの見本にならないといけないし、自制心を育てる為に自分で考える機会を与えて、子供自身でルールを決めるのが大切だということでした。親はそのルールを守れているかを見守ることが大切で、自分の子供がどのようにネットと向き合っているか把握し、また今のネット社会についてきちんと知ることが必要だと感じました。大人と子供の間にある「ギャップ」を埋める事が一番重要だと考えさせられました。